

第6次長期振興計画前期基本計画 施策成果指標進捗状況の評価・点検シート(令和4年度分)

施策進捗状況の考え方

A:概ね計画どおりに進んでいる。(100%以上)

B:計画より遅れている。(100%未満～75%以上)

C:計画よりかなり遅れている。(75%～50%以上)

D:目標達成が困難な見通し(50%未満～25%以上)

未:目標達成不明(25%未満又は実績等把握できないため不明)

基本目標	政策	施策	指標名	基準値		参考	実績値	目標値		進捗状況 評価	実際の状況と今後の取り組み改善 (具体的に記入)	主管課・出典	コード 番号
				年度(年)	指標			R3(R2)	R4				
基本目標1 協力の輪が広 まり、お互いに 支え合うまち	1 住民参加 が根付くまち づくり	「住民と行政がパートナーとして連携している」と思う町民の割合(%)		H30	24.9	-	-	R5	30.0	/	次回アンケート結果	町民意識調査	1-1
		「行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している」町民の割合(%)		H30	16.0	-	-	R5	21.0		次回アンケート結果	町民意識調査	1-1
		まちづくりへの意識の醸成と参画の推進	公募委員を登用する審議会等の割合(%)	H30	13.6	(4.1)	11.4	R5	20.0	C	条例設置による審議会は、11.4%で要綱等を含めた全体では7.7%であった。各課で長期振興計画の基本理念をもう一度振り返って意識するよう改善する。	総務課(企画)	1-1-1
		まちづくり活動に対する支援の充実	元気づくり支援金活用団体数	H30	5団体	(2団体)	5団体	R5	5団体以上	A	元気づくり支援金以外でも町の元気な地域づくり交付金で3団体が地域づくり活動を行っている。町民が主体となる取り組みの支援を継続する。	総務課(企画)	1-1-2
	2 信濃町ファンとの地域づくり	まちづくり事業に参加した関係人口		H30	41人	-	-	R5	100人	未	関係人口創出事業の参加者数の実績把握なし	総務課調(企画)	1-2
		信濃町ファンと連携したまちづくりの推進	「ありえない、いなかまち。」ページビュー数	H30	232,671PV	(320,956PV)	391,506PV	R5	256,000PV	A	町民ライター養成講座で誕生した町民ライターにより多様な記事を掲出することでPVの増加を目指している。今後、町独自のオウンドメディアとしてSNSなどと連動した取組を進める。	総務課(企画)	1-2-1
			信濃町ノマドワークセンター利用者数	H30	-	(57人)	92人	R5	383人	D	コロナ禍で企業の集合研修の機会が減少し利用者数は伸び悩んだ。都内等で開催される企業の総務・人事担当者向けイベント等に出展し企業への営業活動に取組み、利用者の増加を図る。	総務課(企画)	1-2-1
		信濃町ファン移住と若い世代の定住化の促進	移住者数	H30	219人	(229人)	255人	R5	220人	A	令和4年の人口動態において29年ぶりに社会増となった。外国人転入者も過去最高となったことから今後も町の魅力を発信していくとともに、課題である住居の確保に取り組む。	総務課(企画)	1-2-2
			移住・定住の相談件数	H30	377件	(547件)	504件	R5	400件	A	令和4年はWEBサイトの改修や都内の移住関連イベントなどに参加するなどしており、WEBでの移住情報の充実と1回あたり相談内容を充実させることで移住検討者へのアピールを図っている。	総務課(企画)	1-2-2
			空き家バンクの成約率(%)	H30	86.9	(95.3)	86.0	R5	90.0	B	空き家の登録・成約数は、制度開始以来、最も多い取扱いとなったが、賃貸物件については、相変わらず低調であるため、引き続き空き家の掘り起こしを進めていく。	総務課(企画)	1-2-2

第6次長期振興計画前期基本計画 施策成果指標進捗状況の評価・点検シート(令和4年度分)

施策進捗状況の考え方

A:概ね計画どおりに進んでいる。(100%以上)

B:計画より遅れている。(100%未満～75%以上)

C:計画よりかなり遅れている。(75%～50%以上)

D:目標達成が困難な見通し(50%未満～25%以上)

未:目標達成不明(25%未満又は実績等把握できないため不明)

基本目標	政策	施策	指標名	基準値		参考	実績値	目標値		進捗状況 評価	実際の状況と今後の取り組み改善 (具体的に記入)	主管課・出典	コード 番号	
				年度(年)	指標			R3(R2)	R4					年度(年)
基本目標2 地域ぐるみで 子どもを育むまち	1 安心して 子どもを生 み、育てられ る環境づくり	合計特殊出生率		H20-24	1.42	-	-	H30-R4	1.50		次回調査結果	人口動態保健所 市町村別統計	2-1	
		結婚から出産、子育ての 切れ目ない支援の実施	出生数	H30	34人	(30人)	35人	R5	42人	B	結婚から出産、子育ての切れ目のない支援を実施している。今後も継続しフォローを実施する。	住民福祉課(予防)	2-1-1	
		子育てと仕事が両立できる 環境の整備	保育所待機児童数	H30	0人	(0人)	0人	R5	0人	未	未満児保育のニーズが高いことから、利用調整のための基準表を作成していく。	教育委員会(子ども)	2-1-2	
		地域全体で子育てを支える 環境の構築	信濃町を「好き」と思う小中学生の 割合(%)	H30	47.0	-	-	R5	55.0	未	ふるさと学習を積極的に進めている。単に信濃町について学ぶのではなく、例えば4年生社会科の長野県についての学習や、6、9年生の修学旅行の際に信濃町と比較する視点をもって学習をすすめることにより、信濃町についての理解を深め、地域に親しみをもてるようにしている。	教育委員会(総教)	2-1-3	
	2 こどもたちの 豊かな感 性としなや かな知性を育 む環境づくり	「子どもたちが生きていくために必要な力を身につける教育が行われている」と思う町民の割合(%)		H30	34.6	-	-	R5	40.0		次回アンケート結果	町民意識調査	2-2	
		「生きる力」を育む特色ある 教育の推進	「自分には、よいところがあると思う」生徒の割合(%)		H30	33.8	学テ意識調査	38.0	5年間平均	40.0以上	B	Shinanoオリンピックは6・7年生がリーダーになるというように、児童生徒が異学年活動の中心として活動することにより、自己効力感や自己有用感を育てている。さらに、リーダーとなる児童生徒だけでなく、その周囲のフォロワーの児童生徒もリーダーを支えることによる満足感や充足感を得られるよう取り組んでいきたい。	教育委員会(総教)	2-2-1
			「将来の夢や目標を持っている生徒の割合(%)		H30	36.5	学テ意識調査	30.0	5年間平均	45.0以上	C	各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、各種行事を通してキャリア学習を進めている。キャリアパスポートで学びの軌跡を記録し積み重ねることにより、将来を見据え、将来に向けて夢や目標をもてるようになっていきたい。	教育委員会(総教)	2-2-1
			「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」生徒の割合(%)		H30	17.6	学テ意識調査	32.0	5年間平均	30.0以上	A	一人一端末を利用した共同編集により、意見を全体で共有し、話し合い活動や自分の考えを深め、広げることに取り組んでいる。また、職員研修により、ICT利用のスキルアップを図り、生徒の話し合い活動を充実させ、自分の意見を深め、広げられるようにしていきたい。	教育委員会(総教)	2-2-1
			「自分で計画を立てて勉強をしている」生徒の割合(%)		H30	6.8	学テ意識調査	14.0	5年間平均	30.0以上	D	個人でできる調べ学習は家庭学習で行い、それをもとに学校で話し合い活動をおこなうなど、宿題が単なる作業でなく、生きた学習になるよう取り組んでいる。また学年の実態に応じて自主学習の比率を高め、自分から進んで計画的に学習できるようにしている。家庭の協力を仰ぐために、学年通信などで家庭学習についてより良い取り組みを紹介していきたい。	教育委員会(総教)	2-2-1
			家庭、地域との連携による 教育の推進		「地域社会などでボランティア活動をしたことがある」生徒の割合(%)	H30	40.5	学テ意識調査	令和元年度 から調査項目 なし	5年間平均	45.0以上	未	新型コロナウイルス感染症の影響から行事等は中止等の対応が取られ、参加する機会は少なくなっているが、生徒からは地域住民との交流を図りたいとの意見もあることから、キャリアパスポートを活用しながら積極的に取り組んでいきたい。	教育委員会(総教)

第6次長期振興計画前期基本計画 施策成果指標進捗状況の評価・点検シート(令和4年度分)

施策進捗状況の考え方

A:概ね計画どおりに進んでいる。(100%以上)

B:計画より遅れている。(100%未満～75%以上)

C:計画よりかなり遅れている。(75%～50%以上)

D:目標達成が困難な見通し(50%未満～25%以上)

未:目標達成不明(25%未満又は実績等把握できないため不明)

基本目標	政策	施策	指標名	基準値		参考	実績値	目標値		進捗状況 評価	実際の状況と今後の取り組み改善 (具体的に記入)	主管課・出典	コード 番号
				年度(年)	指標			R3(R2)	R4				
基本目標3 生涯を通じて、 だれもが健康 に自分らしく暮 らせるまち	1 多様性を 認め、お互い に支え合う地 域づくり	「ご近所同士で交流し、困ったときに助け合える関係を築いている」町民の割合(%)		H30	56.1	-	-	R5	60.0		次回アンケート結果	町民意識調査	3-1
		住民同士が支え合う地域 福祉活動の推進	福祉ボランティア登録者数(累計)	H30	125人	117人	99.0	R5	125人以上	B	社協登録団体がボランティアを実施しているが、コロナ禍の影響で活動停滞。結果1団体が解散となった。徐々に活動が再開されてきており、具体的なニーズを明確にした周知により活性化を図る。	住民福祉課(福祉)	3-1-1
			福祉に関するNPO等団体数	H30	5団体	4団体	4団体	R5	5団体以上	B	NPO団体の増加は無し。R3に住民主体の生活支援サービス団体が誕生し、住民ニーズの受け皿として実績が出来てきた。持続的な福祉の担い手として期待されており継続した支援を行う。	住民福祉課(福祉)	3-1-1
		高齢者が安心して暮らし ていける環境の構築	介護・支援を必要としない高 齢者の割合(%)	H29	85.6	84.6	84.6	R5	86.1	B	高齢者の生きがいづくり事業(いきいきサロン、ふれあい屋食会)や介護予防事業を実施している。自助・互助・共助による地域づくりに向け、R5より住民主体の団体や民間によるサービス実施を進める。	住民福祉課(福祉)	3-1-2
		障がい者が安心して暮らし ていける環境の構築	障がい福祉サービス事業所数	H30	4事業所	4事業所	3事業所	R5	4事業所以上	B	町内GHが閉所となり事業所1減となった。更にR5は事業所意向により就労B型の1事業所が閉所となる。どの事業所も人員不足の背景があり縮小傾向にあるが、障がい者ニーズの受け皿体制を維持するため、町外事業者にも協力を求めていく必要がある。	住民福祉課(福祉)	3-1-3
		地域で暮らし続けるための セーフティネットの構築	生活保護率(%)	H30	0.4	0.3	0.3	R5	0.3	A	生活困窮者への初期支援として、町社協及びまいさぼ信州長野と連携した就労支援を実施するとともに、必要な場合は最低限の生活を維持するため福祉事務所と連携し生活保護を実施している。引き続き、事情に配慮した支援を継続していく。	住民福祉課(福祉)	3-1-4
		人権尊重・男女共同参画 の社会の構築	審議会等への女性委員の登用率 (%)	H30	18.4	(18.8)	29.5	R5	20.0	A	目標値達成	教育委員会(生涯)	3-1-5
	人権に関する意識啓発活動実施 回数		H30	3回	2回	2回	R5	4回	C	人権啓発はここ最近2、3回を繰り返しており、予算の縮成上、新たな予算を計上しなくても行えるような啓蒙活動を模索して実施していく。	教育委員会(生涯)	3-1-5	
	2 健やかで 豊かな人生 を送るための 環境づくり	国民健康保険加入者医療費		H30	950,145千円	971,145千円	906,245千円	R5	950,145千円以下	A	医療費の総額が減ったのは、加入者の減少も要因のひとつと考えられるが、R3に対してR4は一人当たり医療費が減少しているため、改善ととらえている。	住民福祉課(国保)	3-2
		「公民館などで提供されている学びの場に参加している」町民の割合(%)		H30	18.5	-	-	R5	20.0		次回アンケート結果	町民意識調査	3-2
		「日ごろ、スポーツや運動を行っている」町民の割合(%)		H30	36.8	-	-	R5	38.0		次回アンケート結果	町民意識調査	3-2
		健康づくりの推進	特定健康診査受診率(40～74歳 国保加入者)(%)	H30	49.6	46.1		R5	60.0	C	R4年度の実績数はR4年9月以降に確定となる。引き続き接種率向上に向けて取り組む。	住民福祉課(予防)	3-2-1
		生涯にわたって学び続け られる環境の構築	生涯学習講座数	H30	34講座	(16講座)	11回	R5	35講座	D	コロナ禍で中止となった事業の中で整理しながら講座を復活し、また町民ニーズに沿った新たな講座を開催することで目標が達成できるようにする	教育委員会(生涯)	3-2-2
		地域医療の維持・整備	経常収支比率(%)		H30	94.3	98.7	100.8	R5	100.0	A	目標値は達成しているが、新型コロナウイルス感染者に係る交付金等により比率が改善したものが主であり、病床稼働率が低い数値で進んでいることから、その他の数値についても注視していく必要がある。	信越病院

第6次長期振興計画前期基本計画 施策成果指標進捗状況の評価・点検シート(令和4年度分)

施策進捗状況の考え方

A:概ね計画どおりに進んでいる。(100%以上)

B:計画より遅れている。(100%未満～75%以上)

C:計画よりかなり遅れている。(75%～50%以上)

D:目標達成が困難な見通し(50%未満～25%以上)

未:目標達成不明(25%未満又は実績等把握できないため不明)

基本目標	政策	施策	指標名	基準値		参考	実績値	目標値		進捗状況 評価	実際の状況と今後の取り組み改善 (具体的に記入)	主管課・出典	コード 番号	
				年度(年)	指標			R3(R2)	R4					年度(年)
基本目標4 安全に確かな 暮らしができる まちづくり	1 環境への 負荷が少ない 地域づくり	「身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている」と思う町民の割合(%)	H30	49.4	-	-	R5	51.0		次回アンケート結果	町民意識調査	4-1		
			H30	40.5	-	-	R5	42.0		次回アンケート結果	町民意識調査	4-1		
		自然環境保全の推進と 景観の維持	環境美化活動参加率(%)	H30	5.7	4.1	5.2	R5	6.5	B	公害防止協力員の会議等で、環境美化運動の取組を検討する。	住民福祉課(環境)	4-1-1	
		生活環境の保全と低炭 素社会の構築	町有施設の二酸化炭素排出量 (年間)	H29	2590.6t	(1981.8t)	2,163.2	R5	2444.8t	A	第4次地球温暖化防止計画に則り、設備整備及び電気 利用量等の削減に取り組む。	住民福祉課(環境)	4-1-2	
			ごみの再資源化率(%)	H30	17.2	18.6	17.9	R5	20.0	B	埋立ごみ、可燃ごみの減量を目的とし、広報等で資源 分別について周知を行う。	住民福祉課(環境)	4-1-2	
			一人一日当たりのごみ排出量	H30	821g/日	716g/日	752.4	R5	800g	A	3Rの啓発を実施し、埋立ごみ、可燃ごみの減量 を推進する。 3R推進による二酸化炭素排出量の抑制等の2次 効果の啓発を検討する。	住民福祉課(環境)	4-1-2	
	2 安全で安 定した暮らし を続けられる 地域づくり	暮らしを支える都市基盤 の維持	今後の暮らしについて不安を感じている町民の割合(%)	H30	71.1	-	-	R5	66.0		次回アンケート結果	住民福祉課(福祉)	4-2	
			上水道有収率(%)	H30	77.5	77.1	77.2	R5	77.6	B	非耐震管である石綿セメント管を優先的に布設替して いる。このほか漏水事故は、発生後速やかな対応を心 がけている。令和5年度は、水道事業基本計画の見直 して施設統合や基幹管路の設定を計画している。	建設水道課(水道)	4-2-1	
				舗装改修延長	H30	33.0	33	33.1	R5	38.0	C	214kmの舗装延長があり、今後舗装修繕計画に基づき 優先順位が高い道路から施工をおこなっていきたい。	建設水道課(建設)	4-2-1
				バス交通利用者の満足度(満足・ やや満足の割合%)	H30	58.8	-	-	R5	70.0	未	令和4年度に地域公共交通計画を更新し、路線バス・ デマンドタクシーの運行計画見直しの検討を進めてお り、利用者意識調査等は行っていない。令和6年度よ り運行見直しを行う予定であり、利用者へのアンケート 調査は見直し後に行うこととしている。	産業観光課(商観)	4-2-1
			消防団員数	H30	376人	(379人)	378	R5	400人	B	若手人材不足は様々な団体・組織共通の課題です。 地域団体と連携し、若手在住者を把握し、区の役員の方 と丁寧な勧誘に努める。	総務課(庶務)	4-2-1	
			地域防犯活動と交通安 全対策の推進	刑法犯認知件数	H30	23件	14件	11	R5	23件以下	A	信濃町交番・防犯協会と連携を図り各種啓発活動に取 組む。	総務課(庶務)	4-2-2
		交通事故発生件数		H30	13件	9件	23	R5	13件以下	C	信濃町交番・交通安全協会と連携を図り交通安全啓 発活動・安全教室などの各種取組を行う。	総務課(庶務)	4-2-2	

第6次長期振興計画前期基本計画 施策成果指標進捗状況の評価・点検シート(令和4年度分)

施策進捗状況の考え方

- A:概ね計画どおりに進んでいる。(100%以上)
- B:計画より遅れている。(100%未満～75%以上)
- C:計画よりかなり遅れている。(75%～50%以上)
- D:目標達成が困難な見通し(50%未満～25%以上)
- 未:目標達成不明(25%未満又は実績等把握できないため不明)

基本目標	政策	施策	指標名	基準値		参考	実績値	目標値		進捗状況 評価	実際の状況と今後の取り組み改善 (具体的に記入)	主管課・出典	コード 番号
				年度(年)	指標			R3(R2)	R4				
基本目標5 地域資源を活用した産業があるまち	1 まちの資源をいかした観光産業の振興	観光消費額		H30	47億3,600万円			R5	50億2,900万円		次回調査結果	県観光地利用者統計調査	5-1
		「幅広い年代に喜ばれる観光地がある」と思う町民の割合(%)		H30	34.8	-	-	R5	44.0		次回アンケート結果	町民意識調査	5-1
		信濃町固有の魅力を活かした観光の実現	年間観光客入込客数(日帰り・宿泊計)	H30	92万8,500人	51.3万人	77.6万人	R5	95万人	B	四季の特徴、資源を生かした着地型の滞在プログラム(森林セラピー・自転車・各種アクティビティ等)の造成、普及促進に取り組んでいる。新型コロナウイルス対策として、宿泊割引キャンペーン、YouTubeやSNS等で動画配信のPRを行うなど誘客促進に取り組んだが、繁忙期である夏期、冬期に第7波、第8波が発生しコロナ前までの回復には至らなかった。	産業観光課(商観)	5-1-1
		外国人観光客の誘客	年間外国人延べ宿泊者数	H29	13,221人	6,981人	153人	R5	15,000人	未	(R4:令和3年の統計調査データ) ※1年遅れとなる新型コロナウイルスの影響により、国による通年の入国制限が行われており、外国人旅行者はほとんどいない状況となった。社会情勢によりインバウンド事業は実施を見送っており、観光協会への補助事業のみの実施に留まっている。(在日外国人向けのPRや諸外国の現地事務所へのパンフレット発送等)	産業観光課(商観)	5-1-2
	2 農林業をはじめとした魅力ある産業の創出	農作物出荷額		H29	21億1,000万円	不明	未確定	R5	23億2,000万円		R4実績については、R6年に公表されるため、現在未確定。	農水省 市町村別農業算出額	5-2
		「遊休荒廃農地が少なくなっている」と思う町民の割合(%)		H30	13.4	-	-	R5	20.0		次回アンケート結果	町民意識調査	5-2
		鉱工業事業所数		H30	15.0	不明		R5	15以上		次回調査結果	工業統計調査	5-2
		卸売・小売業事業所数		H28	84.0	不明		R3	84以上		次回調査結果	経済センサス基礎調査	5-2
		生産性の向上と高付加価値化農業の実現	新規就農者数	H30	7人	(4人)	7人	R5	12人 H30-R5合計	C	地域おこし協力隊を受入れながら、新規就農者の拡充に向け新たな取り組みに努める。	産業観光課(農畜)	5-2-1
			認定農業者数(法人含む)	R1	122人	(106人)	111人	R5	130人	B	高齢化による自然減の傾向があるため、担い手確保の観点から、新規就農者の確保と一体に事業を進めていく。	産業観光課(農畜)	5-2-1
			6次産業認定事業者数	R1	3事業者	(3事業者)	3事業者	R5	5事業者	C	町内事業者より6次産業化の意向等をヒアリングし、現状把握に努め、地域おこし協力隊や生産者等と協力して6次産業化を推進していく。	産業観光課(農畜)	5-2-1
		森林資源の保全と活用	フォレストスタイルしなのを利用した住宅建築数	R1	延べ7戸	11戸	9戸	R5	延べ20戸	A	令和4年度は、子育て世代へのイベント参加によるPR、住宅専門誌への広告宣伝を実施した。目標値の年平均が4戸であり、計画を上回るペースで建築が進んでいる。	産業観光課(商観)	5-2-2
			森林整備面積(延べ実績面積)	H30	300ha	(380ha)	421ha	R5	500ha	B	森林譲与税を活用し、森林整備を計画しており、現在意向調査期間中。意向調査を基に、計画的な森林整備を実施予定。	産業観光課(農畜)	5-2-2
		地元企業に寄り添った支援の実施	事業者向け講習会等の実施回数	H30	12回	7回	6回	R5	12回以上	C	商工会において経営一般や税務、金融、労働に関する講習会を実施している。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症のまん延により集団での開催が難しく、感染防止の観点から最低限の個別開催が中心となり、回数が少なくなっている。	産業観光課(商観・農畜)	5-2-3

第6次長期振興計画前期基本計画 施策成果指標進捗状況の評価・点検シート(令和4年度分)

施策進捗状況の考え方

A:概ね計画どおりに進んでいる。(100%以上)

B:計画より遅れている。(100%未満～75%以上)

C:計画よりかなり遅れている。(75%～50%以上)

D:目標達成が困難な見通し(50%未満～25%以上)

未:目標達成不明(25%未満又は実績等把握できないため不明)

基本目標	政策	施策	指標名	基準値		参考	実績値	目標値		進捗状況 評価	実際の状況と今後の取り組み改善 (具体的に記入)	主管課・出典	コード 番号
				年度(年)	指標			R3(R2)	R4				
	3 新たな産業の創出と多様な働き方の実現	新規創業・起業の促進と企業誘致の推進	起業塾講座の受講者数(累計)	H30	16人	(18人)	21人	R5	延べ50人	A	講座の開催が土曜の日中であるため、より多くの方に参加いただけるよう、オンラインでの配信を取り入れて実施した。受講者の半数以上が女性であるため、多様な働き方の実現という視点も含めて開催内容の充実を図っていく。	総務課(企画)	5-3-1
		多様な働き方の実現	町内の職場いきいきアドバンスカンパニー認証起業	H30	1事業所	(1事業所)	6事業所	R5	3事業所	A	認証企業は、信濃町UIJターン就業・創業移住支援事業補助金の対象企業にもなるため、移住による町内事業所の人材確保が期待される。制度の周知を図り認証事業所の増加を図る。	総務課(企画)	5-3-2